

SSKP

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



いずみ

No.
183

2016年12月

社会福祉法人 泉会

泉会事務局 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 TEL03(5429)6721(代) FAX03(5429)6722
info@izumikai.jp http://izumikai.jp/

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一六年十一月十二日発行(SSKP通巻六四七四号)

●本年度の聖句

主は人の一歩一歩を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。
人は倒れても、打ち捨てられるのではない。
主がその手をとらえていてくださる。

(旧約聖書詩篇37編23―24節)



生活介護一泊旅行・足柄 S.A にて (日の出舎)

リオに派遣された日本選手の障害の状況を、ネットで知ることができました。当然のことですが、日本選手の障害の理由の中に戦場での負傷という記載は見つかりませんでした。若者が戦場に行くこともなく、国内が戦場になることもない状況が、ずっと続くことを望みます。

だが、複雑な思いがします。
リオに派遣された日本選手の障害の状況を、ネットで知ることができました。当然のことですが、日本選手の障害の理由の中に戦場での負傷という記載は見つかりませんでした。若者が戦場に行くこともなく、国内が戦場になることもない状況が、ずっと続くことを望みます。

さて、今回のリオ・パラリンピックに参加した日本選手団の人数は127名で、これまでで最多でした。そして、銀メダル10個、銅メダル14個を獲得しました。メダルの総数では史上最高となりましたが、金メダルは0個でした。金メダルがなかったことについて、各競技における参加選手の技量の向上が、想像以上のスピードで進んでいるとの感想が聞かれました。
パラリンピック関連のドキュメンタリー番組で、ある水泳選手の紹介がありました。彼は、イラクに派遣された兵士でしたが、至近距離で爆発物が破裂し、一命は取り留めましたが両目の視力を完全に失いました。帰国後は、負傷前から得意としていた水泳に打ち込んで、パラリンピックを目指しているという内容でした。(この選手はリオの大会で金メダルを取りました。)



同じ番組の中で、次のようなことが紹介されました。アフガニスタンとイラクに派遣されたアメリカ兵の総数は270万人にのぼる。負傷した兵士の数はかなりの数であろうと推定されます。アフガニスタンやイラクだけでなく、地球上では各地で戦火が絶えません。このような言い方は不適切かもしれませんが、そこからは身体障害を持つ負傷兵が生み出され、ひいては各国のパラリンピックの選手数が増加した一因となったのだとすると、複雑な思いがします。

理事長 佐分利 正彦



各事業所 危機管理 の取組み

日の出舎

この日の出舎は、自然が豊かな平井川流域にあり、山林に囲まれた傾斜地を700mほど上った所にあります。

1988年に日の出町第三自治会と「災害活動相互応援協定」を結んで以降、毎年4施設が輪番で会場となり、秋川消防署、日の出町消防団、第三自治会と合同の総合防災訓練を行っています。



日の出舎でも、最近では、2014年10月に災害活動相互応援協定に基づく総合防災訓練を実施し100名程度の規模の訓練を行いました。したがって地域の施設の防災意識は非常に高い状態にあります。毎年6月に行っている自衛消防技術審査会においては、日の出舎は消防器の部に参加しています。自治会内の施設が上位を独占する程のレベルにあります。

記憶に新しい2014年の関東の豪雪では、幹線道路を含めた大雪の影響にて完全に孤立状態になりました。その状況で、災害活動相互応援協定において、近隣の3施設と第三自治会が協議し夜間に除雪作業を行ないました。その結果二晩で命綱である幹線道路までの道路を復旧させる事ができました。また東日本大震災以降に日の出町の災害時要援護者の避難施設の指定を受けております。

防犯に対しては、施設内での対応方法を取り決め、護身用のさすまをを購入し、五日市警察署の方に



よるさすまたの講習会を施設内で行うなど、防犯への取り組み強化を図っております。

近年、世界規模にて地震による災害だけではなく、台風を含めた豪雨自然災害も多くなつてきております。この様な状況のなか情報の三元化を行ない、各職員が確実に対応出来る様に取り組んでいます。

（金縄 勝善）



世田谷エリア

泉の家

泉の家では、毎月防災訓練を定期的にを行っています。通常の避難訓練以外にも、消火器訓練や短期入所を想定した夜間の消火・避難訓練、炊き出し訓練等を行いました。また、世田谷区と区内障害者施設で行われる「二次避難所連絡会」にも積極的に参加しています。実際に災害が起きた時に、落ち着いて行動できるよう真剣に取り組むことを、職員にも利用者にも伝えています。そのため、ここ数年に渡り、成城消防署より自衛消防効果確認で優秀賞の表彰をされています。

また、7月に起きた相模原の事件を受けて、8月に成城警察より防犯対策について話を伺う機会を持ちました。この時の警官二名が不審者役を演じたロールプレイでは、演技と分かつていてもとても怖い思い

をしました。このことを踏まえ、今一度警備体制を見直そうということで、マニュアルの作成、通報設備の整備、防犯カメラ設置の検討などをすすめています。

防災対策・防犯対策どちらも利用者、職員、施設を守るための大切な取り組みです。日頃からの取り組みや心構えがとても重要なので、職員一同油断することなく、気を引き締めて今後も取り組んでいきたいと思っています。

（河村 律子）

岡本福祉作業ホーム

岡本福祉作業ホームでは他事業所同様、施設内での避難訓練を年に3回以上行っています。今年の3月には世田谷区のシェークアウト訓練（安全確保行動のこと。1.姿勢を低く、2.頭を守り、3.動かない）に参加し、いざという時の動きを確認しました。

また、世田谷区と二次避難所の協定を結んでいます。二次避難所連

絡会に参加する中で実感したことが「BCP」（事業継続計画）の作成が必要ということです。二次避難所として機能する以前に岡本福祉作業ホームの通常業務が維持できなければ二次避難所から支援の必要な方が移つてきたいと希望されても受け入れることが出来ません。今はまだ、職員間の共通認識としてBCPが理解されていないこともあり、実行可能な計画は出来ていません。早急に必要と考えます。

災害時に使える「伝言ダイヤル171」が毎月1日、15日に体験練習できます。ご家族に練習のご案内をしています。皆様も利用してみたいかがでしょうか。

（国生 いづみ）

玉堤分場

危機管理というテーマ、幅広く奥深いものですが、玉堤分場も職員意識を、今まさに見直し始めています。インシデントやアクシデントなど

報告書の在り方、災害備蓄品や水害等の立地のリスクの課題を再確認するなど、危機管理に取り組んでいます。

この秋、消防署の方に担架の使い方をご指導いただきました。普段は滅多に使わない物なので、メンテナンスにもなり、多くのことを学ぶ機会となりました。担ぐと想定以上に重く、ちょっとしたコツや注意点を、知ることにより、いざという時に安全に運べることがわかりました。ご家庭でも物干竿やタオルなどが担架になるようなので、ぜひ調べてみてください。



担架の使い方～足側が進行方向です

安全に、また災害時の二次避難所として迅速で的確な対応ができるよう、これからも努力し続けます。

（細田 隼矢）



7月16日（土）に、青梅市沢井にある「アンティークレンガ・バーベキュー場 煉瓦堂 朱とんぼ」にて、当法人の親睦会を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、世田谷エリア、日の出エリアから31名（子供1名）と、多くの職員と役員が参加し



朱とんぼ



皆でワイワイ BBQ タイム

大自然に囲まれた中でのバーベキュー、普段は感じる事のできない、ゆつたりとした時間を過ごしました。

隣の河原ではゴムボートに乗って川を下る「ラフティング体験」が行わ



川ではラフティング！

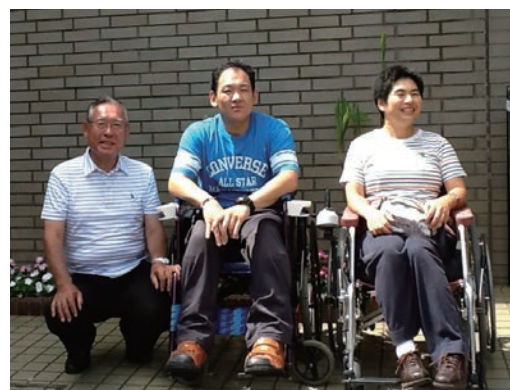


「藤倉さん」
森田慎一朗さん作

藤倉様は2012年11月に行われた世田谷区障害者施設アート・ホーム・バス展にご来場頂き、岡本福祉作業ホームの利用者の絵をご購入頂いた。縁から、岡本福祉作業ホームの作品展等多くの行事にご来場頂いています。行事の際には利用者に優しい言葉やいつも笑顔で挨拶をして下さり、利用者も藤倉様にお会いできることを毎回楽しみにしています。

また造園工事の設計などを行う会社を経営されています。毎回行事の前には岡本福祉作業ホームの玄関の花だんに、季節に合った花や木をご厚意で整備頂き、館内に飾るランなどのお花を頂いております。

お忙しい中、岡本福祉作業ホームへのご配慮とお気づかいに本当に感謝しております。これからも宜しくお願い申し上げます。



綺麗なお花に囲まれて笑顔になります！

Q. 岡本福祉作業ホームの印象はいかがですか？
絵が縁で岡本福祉作業ホームへ。いつも職員や、利用者の方々が笑顔で優しいです。行事での昼食を皆で頂いている時も、楽しそうで、気配りも素晴らしい、今は少ない大家族の食事風景です。笑顔と絵と音楽もあり花が似合う岡本福祉作業ホームです。
Q. 上手にガーデニングをするにはどのようにすれば良いですか？
植木も草花も生きていますので植えて完成ではなく、どの様に成育していくかなどを知ることが、大切だと思います。

（聞きとり 有馬 恵子）

れており、それを見ながら、「次回は皆でやってみようね。」と話が出ました。

B B Qの他にも各事業所の職員が持参した手料理等を食べながら、皆とても楽しそうに盛り上がりつつありました。



地域交流

2016年9月3日（土）岡本福祉作業ホームと泉の家は地域交流を目的とした施設公開を行いました。

泉の家

今年度も多くのボランティアの方にご協力いただき、Open the Doorを開催しました。来場者が約150名と大盛況でした。

新たな試みとして、早稲田大学児童文化研究会の皆様に入形劇を上演していただきました。お子さんの来場者が多く、とても盛り上がりしました。

模擬店では世田谷福祉作業所にお越し頂き、焼きそばを出していただき大変好評でした。

ゲームコーナーのストラックアウトでは、利用者が笑顔で接客し、「がんばれ！」と応援する姿がありました。窓ガラスに絵を描くことが出来る体験コーナーでは、利用者とお客様が横に並び、楽しそうに絵を描いている様子はまさしく地域交流でした。

ご参加くださったボランティアの皆様、本当にありがとうございます。（水原 咲子）

帰りの際も皆で協力し合い、あつという間にきれいに片づけもでき、普段はなかなか交流の出来ない世田谷エリアの職員ともたくさん交流ができ、とても充実した法人親睦会が行われたと思います。

次回もたくさんさんの職員が参加し情報交換等、多くの交流を行ない、泉会を盛り上げていければと感じました。（日の出舎 堀江 光）



集合写真

岡本福祉作業ホーム

岡本福祉作業ホーム施設公開行事「まるごとおかもと」は今年で4回目となります。当日はお天気にも恵まれ、約120名の方に来場頂きました。

陶芸絵付け・紙すき・織り・ポプリ、喫茶コーナーの他に今年は新たに「射的」と「輪投げコーナー」を設置。景品を目の前にして「どれにしようかな？」と楽しそうに選んでいるお客様も多く、大盛況でした。利用者のピアノコンサートの3回公演は各回ともに満員で、「とても感動した」、「ありがとう」等、たくさんのお褒めの言葉を頂きました。今回も多くのボランティアの方、ご家族の皆様のご協力で大盛況のうちに終えることができました。

また今年度は泉の家との同日開催となり、より地域の皆様との交流を深めることができました。両施設に関心を持って頂く良い機会となりました。（有馬 恵子）

岡本福祉作業 ホームだより

【月に一度の計測】

岡本福祉作業ホームでは月1回「計測日」を設けています。車椅子やクラッチ使用の利用者が大半ですから、体重測定つをとつても「行事」となります。計測2・3日前から、「食べるのを減らす」等のつぶやきが聞こえます。自分の健康管理に関心を持つていることは好ましく、「（体重が）前の月よりも減ったよ」とにやにやする方もいます。車椅子ごとの体重測定の場合は、荷物や車椅子のバッテリー等の装着の有無も考えて、車いす本体の重量を引き算する個別対応です。体脂肪測定は独自の構え姿勢で臨んでいる方もいます。支援員と利用者との意気の合った流れに、ほほえましさを感じます。利用者は、「待つ・順番」というルールを守ることが自然と出来ています。看護師は血圧測定（測定値をわかりやすく説明）や爪チェック（深爪・爪色手や爪の衛生管理等）を中心に関わっています。接点の少ない利用者の場合は、この機会が特

に大切です。

利用者の加齢に伴う生活習慣病（予備軍）や、障害特性から来ると思われる日常生活動作の低下が懸念されます。より長く穏やかな生活が維持できるように支援していきます。

（下島 恵子）



車椅子から体重計への移動も慣れてい



荷物を全部とっていざ、体重計へ！

玉堤分場だより

【たぐやんの会】

玉堤分場には多くの介護等体験実習生やガイドヘルパー実習、利用実習生が訪れます。一緒に作業をしながら、過ごされます。色々な方との交流は利用者にとつても職員にとつても新鮮な刺激となります。逆に、訪れた皆様は、利用者の作業に取り組み姿勢や共に働く様子にとつても驚かれています。クッキーの生地コネのコツ、お面の型にバルブを貼りつけるコツ、クッキーの袋を折る幅、道具がどこにあるか、などなど、利用者の皆さんが、ゆつくり丁寧に絶妙なタイミングでサポートしてくださるのです。ちょっとしたお互いのことを気遣うやさしさや、ゆつたり落ち着いた雰囲気に触れて、初めは緊張している方も、帰る頃にはとても良い表情をされています。素晴らしいことだと思えます。日常の中で香るこの空気を愛おしく思います。玉堤分場のメンバー全員でこの空気感を大切にしたいと願います。

（半澤 恵理）



ボウリング大会、副賞は抱擁権！



ストライク後のガッツポーズ！



押花で作成しました！

日の出舎だより

【就労日の出舎（新）作業棟建設】

早いもので日の出舎の建替え工事から5年が経ちました。以前の建物は旧制度の授産施設ということもあり、入所と通所の方々が一緒に作業活動を行っていた関係でとても大きな作業棟がありました。制度が変わり生活介護と就労継続支援B型に分かれ、活動場所もまた分かれています。

今回、（新）作業棟建設を計画した理由は2つあります。1つ目は、B型事業として作業展開していく中で場所が手狭になってしまったことです。木工作業では木工機械の設置、材料置場、製作工程におけるパーツ置場、備品の保管等、広い場所が必要となります。受託作業についても、例えばダイレクトメールの封入作業では、カゴ台車（よくスーパーやコンビニで見られる大きな台車のこと）2～3台分位の量が一気に搬入されます。受託作業でも広い場所が必要となります。

2つ目は、今年度4月より生活介



起工式の様子

護の定員を増やし通所の枠を設けたことです。定員が増えることで生活介護の活動場所が足りなくなります。現在、B型事業で使用しているワークルームを生活介護の活動場所として使用する予定です。

このような理由から新作業棟の建設を行うことになりました。昨年度から様々な調整・事務手続き・準備を始め、ようやく起工式を迎えることとなりました。設計事務所・建設会社の方々のご協力を頂きながら、素晴らしい作業棟になるよう力を注いでいきたいと考えております。また近隣住民の皆様方の暖かいご理解・協力に感謝して改めて御礼を申し上げます。

（加藤 圭介）

泉の家だより

【利用者の発表会】

泉の家では毎月1日、15日に全利用者が集合し、全体朝礼を行っています。次月の予定や活動状況の報告、区からのお知らせや制度変更の説明等を行っています。

今年度から、月初めの全体朝礼で利用者が中心となり発表できる時間を設けています。趣味や好きなこと、得意なことなど発表者の想いを発表しています。

今回は秋田さんの詩をご紹介します。



詩を朗読する秋田さん

『沢山の人々の優しさ』

僕が生まれた時は、大きな泣き声をあげて、周りにいる看護師さんを始め、お父さん、お母さんを幸せに包んだ。初めての入浴は、看護師さんが僕をそつと左手で支えてくれた。ふわふわしたバスタオルで、入浴上がりの僕を素早く拭き取り、白い産着を着せてくれた。いつのまにかお母さんに抱かれ、お父さんに抱かれたりして、幸せに包まれた日でした。

（秋田 英幸さん）

大勢の前で素敵な詩を発表してくださいました。初めて発表した詩は、人々の優しさに触れ、ここまで育つて生きているという強い意味が込められています。利用者の想いを発信する機会として、今後も引き続き利用者発表を計画していきます。

（水原 咲子）



第8回 成城音楽祭 チャリティコンサート



ヴァイオリン 藤原 浜雄



ピアノ 小林 五月



チェロ 毛利 伯郎

♪♪♪ 三人による豪華な、クラシック演奏会です。是非お越しください。♪♪♪
演奏曲目：グリーグ「叙情小曲集」より・ベートーヴェン「ピアノ三重奏曲第1番変ホ長調作品1-1」

日 時：2017年3月16日 木曜日
18時00分～20時00分（開場17時30分）
場 所：成城ホール（東京都世田谷区成城6-2-1）電話03-3482-1313
入場料無料／全席自由席（297名）
共 催：東京成城ロータリークラブ／社会福祉法人 泉 会／泉会後援会いずみ友の会
後 援：世田谷区／ロータリー財団
演 奏 者：小林五月（ピアノ）、毛利伯郎（チェロ）、藤原浜雄（ヴァイオリン）
問 合 せ：社会福祉法人 泉会 事務局 03-5429-6721

1月～4月各事業所の予定表

行 事	販 売 会
1月予定 初詣（日の出舎）	1月18日 スカイキャロット販売会（玉堤分場）
1月12日 新年会（泉の家）	2月予定 せたがや梅まつり（泉の家・岡本福祉作業ホーム）
2月11日 地域とともに（玉堤分場）	2月予定 ひのでスマイルフェスティバル（日の出舎）
3月予定 新作業棟竣工式（就労日の出舎）	4月予定 さくらまつり（玉堤分場・岡本福祉作業ホーム）
	4月予定 ヤ・エまつり（玉堤分場）
	4月予定 せたがや日赤のつどい（玉堤分場・岡本福祉作業ホーム）
	4月予定 花みず木フェスティバル（泉の家・岡本福祉作業ホーム）

予定は変更する可能性があります。行事・販売会については各事業所にお問合せください。

＊社会福祉法人 泉会＊

法人本部	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号	岡本福祉作業ホーム	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
泉の家	☎03(3417)3451(代) FAX03(3417)3463 izumi@izumikai.jp		☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976 okamoto@izumikai.jp
日の出舎	〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番	玉堤分場	〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号
就労日の出舎	☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205		☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433
相談日の出舎	info@hinodesha.org		tamatutumi@izumikai.jp
グループホーム	〒197-0804 あきる野市秋川2-3-1	相談支援センター	
のぞみ	☎042(533)3608 FAX042(533)3609	おかもと	soudan-okamoto@izumikai.jp
いずみ	〒197-0825 あきる野市雨間322-12 ☎・FAX042(550)9083		

編集後記

私達の日々を支えて下さっている様々なサポートに感謝します。利用者が安心して過ごせるよう備えていくことができますように。
玉堤分場 半澤

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一六年十一月十二日発行（SSK P 通巻六四七四号）

編集人
社会福祉法人 泉会
〒157-0072
東京都世田谷区祖師谷3-1-17
ヴェルドウーラ祖師谷邸
障害者団体定期刊行物協会
発行所
〒157-0072
東京都世田谷区祖師谷3-1-17
社会福祉法人 泉会
領価五十円